

2026年度 浅野工学専門学校											
建築設計・デザイン科											
建築一般 系統											
対象	1 年次	開講期	通年	区分	必修	種別	講義	時間数	64	単位	4
科目名	建築デザイン史					担当者	森住 藍				
授業概要											
前期は西洋建築史について、後期は日本建築史について学ぶ。 建築様式を系統的に学ぶことで、デザインと建築技術の関係の理解を深める。											
到達目標											
各時代の建築様式の変遷と、建築が持つ美的・機能的側面が現代建築に与えた影響について 習得する。 地域・宗教・文化・民族・生活などと建築の関係を理解する。											
授業方法											
各時代の社会的背景と建築様式の遷り変わりについて時系列に従い、体系的に講義を行う。 時代や地域による建材の選定と構法の変化についても、理解しやすい教材を用いて視覚的に確認しつつ説明を行うことを 旨とし、VTRなどを有効的に活用する。											
成績評価方法											
授業課題 30%・取組姿勢 10% 中間試験 20%・期末試験 40%											
履修上の注意											
授業で配布する資料の整理を丁寧に行いましょう。 効率的なノートの取り方を考え、板書した事柄のみならず、必要と思われる内容はメモを取ることを心掛けましょう。											
教科書教材											
コンパクト版建築史[日本・西洋]／「建築史」編集委員会編／彰国社											
参考書教材											
建築史 増補改訂版(市ヶ谷出版／藤岡通夫・渡辺保忠・桐敷真次郎・平井聖) 日本建築史図集、西洋建築史図集、東洋建築史図集(彰国社／日本建築學會 編)											
関連科目											
住宅設計論											

回数	授業計画	
第1回	内容	ガイダンス 西洋建築史の流れ
	細目	前期授業のスケジュール説明（前期16回の概略）、西洋史概説（文明と文化・人の移動など）
第2回	内容	古代エジプト建築、オリエントの建築
	細目	ピラミッド建築（マスタバ・屈折・階段・ギザ 3大ピラミッド） オリエント建築技術（組積アーチ構造）モニュメントとしての建築
第3回	内容	古代ギリシア建築
	細目	3種のオーダー（ドリス式、イオニア式、コリント式）、神殿建築、都市施設（ポリス・アゴラ・議事堂・劇場・ストア・競技場、VTR視聴と小テスト）
第4回	内容	古代ローマ建築
	細目	都市形成（地中海文明・沿岸都市）、都市広場（フォルム・公共建築群）、コンクリート住宅、神殿建築（メゾンカレ・ヴェスタ）、5種のオーダー、諸国支配、VTR視聴
第5回	内容	中世初期建築
	細目	キリスト教建築（バシリカ式・集中堂式）、初期サン・ピエトロ寺院、教会堂の装飾、巡礼者記念堂、墓廟等
第6回	内容	ビザンチン建築
	細目	ビザンティン様式 装飾（スタッコ・モザイク・壁画）建材（レンガ、石材、木材）ドーム建築（スキンチ・トロンプ・ペンデンティヴ）ハギア・ソフィア
第7回	内容	ロマネスク建築
	細目	教会堂建築（宮廷礼拝堂・修道院）、バシリカ式教会堂建築、巨大3聖堂（シュバイヤー大聖堂・ダラム大聖堂・マインツ大聖堂）
第8回	内容	ゴシック建築
	細目	大聖堂の構造的特徴（リブ・ヴォールト、フライイング・バットレス）、ケルン大聖堂・ミラノ大聖堂・シャルトル大聖堂、華麗な装飾技術の発展、VTR視聴と小テスト
第9回	内容	学外見学会
	細目	
第10回	内容	ルネサンス建築
	細目	古典建築の応用と技術革新、建築家の誕生（ブルネレスキ・ミケランジェロ、アルベルティ、パッラーディオ）、機能的建築の台頭、マニエリスム、VTR視聴と小テスト
第11回	内容	中間試験、（学外見学会レポート提出）
	細目	テキスト、自筆ノート持ち込み可
第12回	内容	バロック建築
	細目	宗教改革、古典主義、ベルニーニ、ボッロミーニ、大貴族邸宅（ヴィコンテ城館）、サン・ピエトロ寺院建替と楕円広場
第13回	内容	新古典主義
	細目	リヴァイヴアル建築、パッラーディオ主義、考古学的検証、革命建築、空想的建築（ピラネージ、プレー）、ピクチャレスク造形手法
第14回	内容	近代建築
	細目	新材料を用いた構造物、鉄の時代、アーツ・アンド・クラフツ運動、アールヌーヴォー（A.ガウディ）、デ・ステイル、アール・デコ、VTR視聴と小テスト
第15回	内容	近代建築の巨匠、総復習
	細目	ライト、コルビュジェ、ミース、アメリカ近代建築（スカイスクレーパー、超高層建築郡）、前期のまとめ、期末試験対策
第16回	内容	前期末試験
	細目	テキスト、自筆ノート持ち込み可

回数	授業計画	
第17回	内容	ガイダンス 日本建築史の流れ
	細目	後期授業のスケジュール説明、日本の歴史概説（縄文時代から昭和まで）
第18回	内容	建築と集落
	細目	縄文・弥生・古墳時代の住居と集落（竪穴式住居、高床式建物、掘立造り）、環濠集落、三内丸山遺跡、吉野が里遺跡
第19回	内容	神社建築1
	細目	自然崇拝の歴史、神社の形態、古代のモニュメント建築、伊勢神宮・出雲大社・住吉大社・春日大社など
第20回	内容	神社建築2
	細目	伊勢神宮の式年遷宮などについて 図面と映像を視聴し 解説 木造伝統的構法と技術の伝承、V TR視聴と小テスト
第21回	内容	寺院建築1
	細目	大陸文化と交流、複合施設としての仏教建築（学問僧による研究機関） 版築・瓦（セラミック）・組物、伽藍配置、千年建築
第22回	内容	寺院建築2
	細目	飛鳥様式・和様・大仏様・禅宗様 図面と映像から解説 VTR視聴と小テスト
第23回	内容	都市計画と遷都の歴史、住宅建築の歴史
	細目	都の造成と遷都の歴史、茶室建築と庭園 住居の歴史、地方により異なる民家と町家、V TR視聴と小テスト
第24回	内容	学外見学会
	細目	
第25回	内容	西洋文化の移入
	細目	洋館建築、お雇い外国人建築家による設計（グラバー邸、築地旅館、銀座煉瓦街、鹿鳴館、三菱 1号館、古川邸、開智学校など）
第26回	内容	中間テスト（見学会レポート提出）
	細目	テキスト・自筆ノート持込可
第27回	内容	モダニズム建築の到来
	細目	ヨーロッパの建築運動、F.L.ライトの建築、分離派教会 VTR視聴と小テスト
第28回	内容	戦後の復興と住宅建築
	細目	前川國男、丹下健三、坂倉准三、他、モダニズム建築作品紹介と解説
第29回	内容	戦後の住宅政策とDK住宅
	細目	戦後住宅政策の3法制定、国庫補助による低賃金住宅の供給、日本住宅公団の設立、RCによる耐火建築の奨励、食寝分離、プレファブ住宅
第30回	内容	メタボリズム運動
	細目	建築および都市の成長とシステム、菊竹清訓、大高正人、牧文彦、黒川紀章 大阪万博とテクノロジーの発信
第31回	内容	総復習
	細目	後期末試験に向けての総復習、ノート整理、期末試験対策
第32回	内容	後期末試験
	細目	テキスト・自筆ノート持込可